「ラグビーワールドカップ2019日本大会」に関するアンケート調査　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

　令和元年９月から11月にかけて、日本全国を舞台にラグビーワールドカップ2019日本大会が開催された。大阪府でも東大阪市花園ラグビー場で4試合開催されたため、東大阪市等と連携して積極的な広報活動を実施してきた。また、大会期間中にも大会を盛り上げるべく様々な施策を行った。本調査では、これまで行ってきた広報活動や各種施策の効果について調査する。

1. 主な調査項目

　(1)　ラグビーワールドカップ2019日本大会の日本開催について

　　①　開催後の認知度

　　②　開催前の認知度

(2)　ラグビーワールドカップ2019日本大会の東大阪市花園ラグビー場開催について

　　①　開催後の認知度

　　②　開催前の認知度

　(3)　ラグビーワールドカップ2019日本大会への参加状況

　(4)　ファンゾーンについて

　　①　ファンゾーンの認知度

　　②　ファンゾーンへの参加状況

1. 調査対象

国勢調査結果（平成27年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問　４問

　　SC1　年齢（Ｎ）

　　SC2　性別（ＳＡ）

　　SC3　都道府県（ＳＡ）

SC4　市町村（ＳＡ）

本質問　１１問

　　Q１　ラグビーワールドカップ2019日本大会の認知度（SA）

　　Q２　ラグビーワールドカップ2019日本大会開催前の認知度（SA）

　　Q３　【Q２　「『日本で開催されること』自体知らなかった」以外】何で知ったか（MA）

　　Q４　ラグビーワールドカップ2019日本大会への参加状況（MA）

　　Q５　ファンゾーンの認知度（SA）

　　Ｑ６　【Q５　「知っていた」】何で知ったか（MA）

　　Ｑ７　【Q５　「知っていた」】ファンゾーンに参加したか（SA）

　Ｑ８　ラグビーワールドカップ2019日本大会を通じて感じたこと（ＭＡ）

　Ｑ９　ラグビーワールドカップ2019日本大会という大会について（ＭＡ）

　Ｑ１０　今後も世界規模のスポーツイベントを大阪で開催すべきか（ＳＡ）

　Ｑ１１　世帯構成（ＭＡ）